

Start & Challenge 自宅を開放し子ども・子育てを応援

主に赤ちゃんから未就学児までの子連れ家族を対象にした「子ども子育て応援ひろば」が東和泉で開かれている。

「kom a söpö : こまそぽ」(杉本かをり代表)が昨年5月から毎月1回土曜日に杉本さんの自宅で開催、これまでに延べ約40組の親子が参加した。



木のおもちゃで遊ぶ子どもたち

保育士でおもちゃコンサルタントの杉本さんと、栄養士で妹の鎌田美恵子さんが、子育て相談や栄養相談、絵本の読み聞かせ、簡単な工作体験を行っている。子どもたちは木の香りがするひのきの床の部屋で、木や布のおもちゃなどで遊ぶことができ、車いすも利用できる。障がい児の子育て経験がある母であり、東京都の研修を受け、医療的ケア児支援者でもある杉本さんは、障がい児や医療的ケア児の家族にも気軽に参加してと呼びかけている。

市民公益活動事業補助金のスタート補助金を受けて開催しており、開催日はホームページや「こまえくぼ」の掲示板で告知する。参加費は1組(4人まで)500円。午前は2歳児まで、午後は全年齢の子どもが対象。

問い合わせ Mkom.a.sopo.2022@gmail.com.

高齢者施設で年約50回の生演奏

バンド「カワセミサウンズ」(松村隆代表)が、市内外の高齢者施設などで慰問演奏を行っている。

同バンドはデジタルサックスの砂川輝雄さん、ボーカル・ギターの松村さん、ベースの神原草造さん、ボーカル・ピアノの加藤幸子さん、ギターの鈴木豊広さんと構成する50~80代の5人組。市内で活動していた音楽グループが母体となり、令和4年12月に結成。これまでに市内や近隣自治体の施設を1カ月に2~9カ所訪問、延べ約50カ所で演奏を行ってきた。生の音楽に触れる機会の少ない高齢者に喜んでもらえるという人気で、今年度はバッテリー付きアンプを購入し、演奏できる場所が増えた。



ツクイ狛江で慰問演奏

レパートリーは唱歌やカントリー、ジャズなどの懐メロから、最新の朝ドラ主題歌まで約200曲を数える。定番の曲に加え、2カ月ごとに変更する季節の曲、リクエスト曲を交じえ、約1時間で10数曲を演奏する。歌詞カードを配って施設利用者と一緒に歌ったり、即興で音楽クイズを披露して会場が一体となることも多いという。

レパートリーは唱歌やカントリー、ジャズなどの懐メロから、最新の朝ドラ主題歌まで約200曲を数える。定番の曲に加え、2カ月ごとに変更する季節の曲、リクエスト曲を交じえ、約1時間で10数曲を演奏する。歌詞カードを配って施設利用者と一緒に歌ったり、即興で音楽クイズを披露して会場が一体となることも多いという。

問い合わせ ☎090-5328-3687松村さん。

狛江フィルが25日に50回目の定期演奏会

狛江フィルハーモニー管弦楽団が25日(土)午後2時から狛江エコーホールで第50回定期演奏会を開催する。

同楽団は、地域の人に気軽にクラシックの生演奏を楽しんでもらおうと平成8年に結成、翌年からほぼ年2回のペースで定期演奏会を催してきた。狛江市と周辺に住む会社員や主婦などの団員約40人が、毎週土曜日午後15時から西河原公民館などで練習に励んでいる。年齢構成は20代から70代と幅広く、平均年齢は約50歳で、創立時からのメンバーも約10人おり、20年以上所属する団員も多い。

50回目の演奏会では、長年目標にしていた演奏の難しいチャイコフスキー交響曲第4番へ短調を指揮者に洗足学園音楽大学講師の久世武志さんを招いて演奏する。このほか、モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」序曲、神奈川フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリン首席奏者の直江智沙子さんの独奏とともにメンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲ホ短調を演奏する。

入場は全席自由で料金1,000円、中学生以下は500円。購入はイープラス(二次元コード)で当日券もある。

問い合わせ ☎070-3867-9651同楽団事務局。

スポット

古民家でお月見音楽会 狛江高校箏曲部が演奏

むいから民家園(市立古民家園)で9月29日(土)にお月見音楽会が催された。

日本の伝統行事と音楽の良さを味わってもらおうと市教育委員会が催したもので、7月に第47回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門で文化庁長官賞を受賞した都立狛江高等学校箏曲部(綿貫想夏部長)が出演した。園内にある古民家で2年生を中心とした部員8人



演奏する狛江高校箏曲部員たち

Shop & Service Guide ...29

いらっしゃいませ 高山自動車



(株)高山自動車は輸入車や日本車の販売、整備に加え自動車の研究開発も行っている。平成21年からは東京モーターショーにほぼ毎回、独創性に富んだ車を展示し高い評価を得ている。

最近の注目モデルは世界一小さいEVキッチンカー「マイクロフリーダ」。全長約2,100mm、全高1,980mm、幅1,120mmの小さな車体に運転席のほか、流し台、冷蔵庫などの調理器具、作業スペースがある。さらに外側のボディをスライドさせると幅を2,020mmに拡大できるユニークな機構を備えている。約10年前に開発、26年から都心のビルの屋上で使われ、テレビでも話題となり、今年10月の駅前ランチプロジェクトでも中華バーガーの販売に使われた。公道

世界最小のEVキッチンカー開発 自動車販売・整備とEV車の研究



マイクロフリーダ(左)と(左から)高山社長、スタッフの平野正文さん

☎3430-8000 中和泉3-36-6、営業時間=午前10時~午後6時、土・日曜日・祝日休み

が「千本桜」「新時代」「はじめの一步」「百花譜」を披露した。訪れた延べ約300人の聴衆は雲の切れ間から顔をのぞかせた十五夜の満月を眺めながら見事な箏の音色に秋の夜を満喫していた。

綿貫部長たちは「1・2年生中心の初めての演奏会だったので緊張しましたが、良い雰囲気でした」と喜んでいました。

9日から火災予防運動 地震の被害軽減へ対策を

秋の火災予防運動が9日(土)から

15日(日)まで行われる。

今年(令和4年)は関東大震災から100年。令和4年に発表された首都直下地震等による東京都の被害想定によると、その中の多摩東部直下地震で狛江市の多くの地域が震度6強の揺れに見舞われ、死者約500人、出火件数4件で約1,700棟が焼失する被害が予想されている。

狛江消防署では、被害を軽減するために近隣住民による初期消火が重要として、消火器の使い方を確認するほか、家具類の転倒・落下・移動防止対策を市民に呼びかけて

を走行でき、小型で排気ガスを出さないため、屋内でも使えるなどの多用途性が期待されている。

代表取締役社長の高山英一さん(69)は子どもの頃からオートバイや車が好きな

で、自動車メーカーに就職して販売と整備に携わりながら、カーレーサーを目指した。レースに参加する中で自動車のメカニズムへの関心と知識を深め、26歳でレーサーを卒業、レースでの経験を生かし車の製造を志した。

昭和57年に独立して府中市内に自動車の販売・整備を行う会社を設立。61年に現在の場所へ移転、(株)ヤナセの代理店としてメルセデス・ベンツなどの輸入車や日本車の販売を手がけ、市外からも多くの顧客を獲得した。特定のメーカーに限らず幅広い車種の整備を行うため、車を持ち換えても安心して任せられることもあり、長く続けている客が多いという。

事業が軌道に乗るのに合わせて、技術開発部門を本格的にスタート、3D-CADを導入しオリジナルの自動車の設計を行うようになった。高山社長は、新規参入がしやすく、比較的部品点数が少ない小型電気自動車に着目、その受託開発を行っている。同社では、顧客のニーズに合わせた開発をモットーにしているのが特色で、公的機関との共同研究や衝突実験など、自動車メーカーに求められる経験の蓄積や安全性の追求に努めている。

モーターショーに出展する中で自動車部品メーカーとの製造業務委託契約を結び、安価に製造できるネットワークが広がり、大手鉄道の子会社から開発を受託しEVキッチンカーを製造した。現在は、開発した車が安全に公道を走行できる仕組み作りを注いでいる。

高山社長は「マイクロフリーダを手軽に利用できるシステムを構築するため、自治体や商業団体、リース会社などの支援と協力がほしいです」と話している。

いる。

問い合わせ ☎3480-0119狛江消防署。

七五三詣りを受け付け 伊豆美神社が4日間

伊豆美神社が4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)の午前10時~午後3時に七五三詣りを受け付ける。また、4日と12日には境内でプロカメラマンによる撮影(有料)も行う。4日間以外は予約が必要。

問い合わせ ☎3489-8105伊豆美神社。